

事業報告書

平成30年度

社会福祉法人 緑風会

特別養護老人ホーム 緑風館

緑風デイサービスセンター

小規模多機能「みどりの家」

居宅介護支援事業所 緑風館

緑風在宅介護支援センター

《 目 次 》

I	法人の概要	1~4P
II	介護老人福祉施設	5~21
III	短期入所生活介護事業	22~24
IV	通所介護事業	25~30
V	小規模多機能型居宅介護事業	31~34
VI	居宅介護支援事業	35~39
VII	在宅介護支援センター	40~42
VIII	地域交流実績	43~44

事業報告書

平成30年度

社会福祉法人 緑風会

特別養護老人ホーム 緑風館

緑風デイサービスセンター

小規模多機能「みどりの家」

居宅介護支援事業所 緑風館

緑風在宅介護支援センター

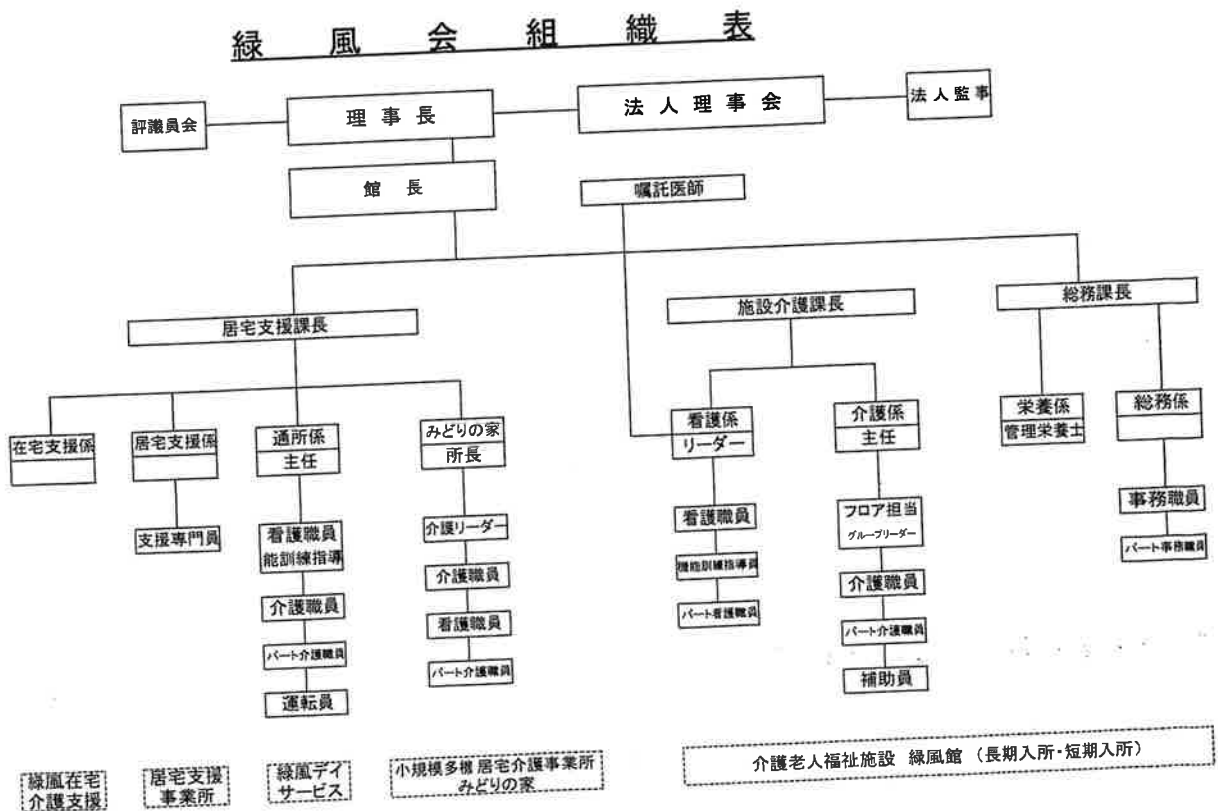
I 法人の概要

1 名称及び所在地

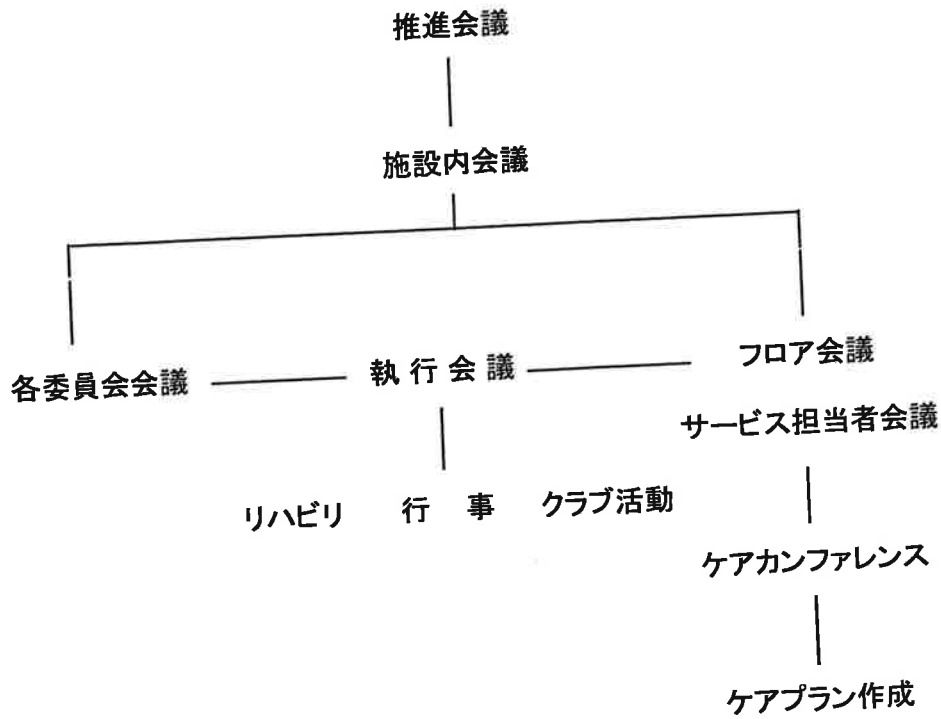
- [1] 名 称 社会福祉法人 緑風会
- [2] 所 在 地 兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- [3] 法 人 認 可 平成6年2月7日

2 法人の組織

平成31年3月31日現在



3 業務の運営体制



4 職員の勤務体制

事務職員	日勤	A M 9:00 ~ P M 6:00
ケアワーカー	早出	A M 7:00 ~ P M 4:00
	日勤	A M 10:00 ~ P M 7:00
	夜勤	P M 5:30 ~ A M 10:30
看護職員	日勤	A M 9:00 ~ P M 6:00

5 職員配置

(平成31年3月31日現在)

〔1〕事業別職員配置

区 分	介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 緑風館			通所介護 緑風デイサービス		居宅介護支 援緑風館		小規模 みどりの家		緑風在宅介 護支援セン ター		合 計		
	常 勤	非常勤	常 勤 換 算	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	合 計 人 数
施設長	1		1									1	0	1
管理者						1		1				1	0	1
事 務 員	2	2	3.2									2	2	4
相談員	1 <small>介護支援専 門員業務</small>		1	1						1		3	0	3
介護支 援専門 員	1 <small>相談員業務</small>		1			4	1					3	1	4
ケアワ ーカー (うち介 護福祉 士)	20	16	28.0	4	3			4	9			28	28	56
	(14)	(4)	(15.4)	(2)				(2)	(3)			(20)	(5)	(25)
嘱 託 師		1	0.1									0	1	1
看 護 員	2	7	5.2	1	1			1				4	8	12
機能訓 練 指導員	1		1									1	0	1
栄 養 士												0	0	0
そ の 他		2	1.2									0	2	2
合 計	28	28	41.7	6	4	5	1	6	9	1	0	43	42	85

[2] 事業別施設外研修の実績

職員の資質の向上を図るため次表のとおり外部研修会に派遣した。

研 修 内 容	特別養護老人 ホーム緑風館	緑風デイサー ビスセンター	小規模 みどりの家	居宅介護支援 緑風館	緑風在宅介護 支援センター	合 計
ケアプラン関係	2		1			3
認 知 症	6	1	1			8
医療・レク・終末期 ケア	4					4
食事・給食業務	18		1			19
リスクマネジメント	4	1				5
行 政・保険・法改正	10	1		2	9	22
総 務 事 務	4					4
財 務 事 務	7					7
ケ ア マ ネ				42	16	58
資格取得・スキルアップ ・人材育成	7	1	4	10	1	23
地域 サポート・ケア	13				13	26
サ ー ビ ス 評 価	8					8
そ の 他	10	4				14
合 計	93	8	7	54	39	201

Ⅱ 介護老人福祉施設

1 施設の概要

- [1] 名 称 特別養護老人ホーム 緑風館
- [2] 所在地 兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- [3] 開設 平成6年6月20日
- [4] 設置運営 社会福祉法人 緑風会
- [5] 定員 60名
- [6] 土地・建物
- | | |
|-------|----------------------|
| 土地面積 | 2,742.36㎡ |
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り 3階建(一部4階) |
| 建物延面積 | 3,020.41㎡ |

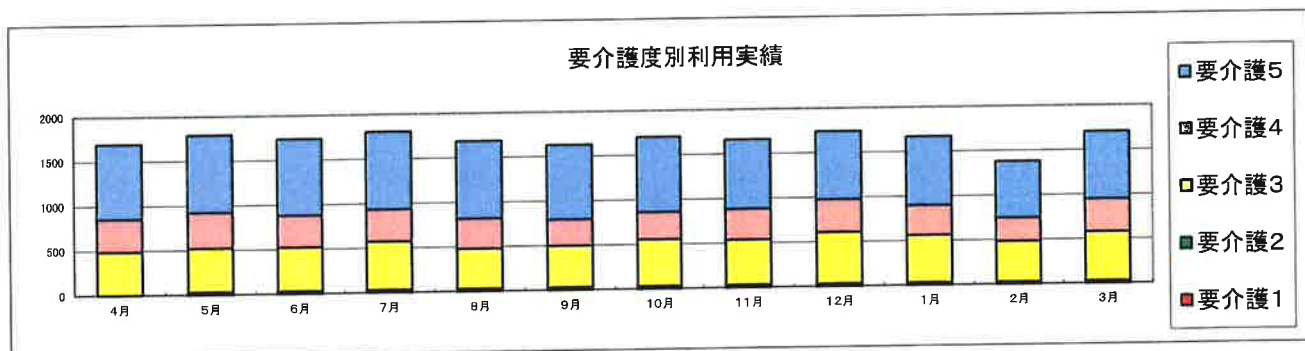
2 入所者の状況

[1] 月別入退所者数

区分	6~29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	30年度計	累計	男	女
入所者数	408	2	1	0	1	1	0	2	2	2	2	2	1	16	424	116	308
退所者数	351	0	0	1	0	1	1	3	3	0	3	1	0	13	364	104	260
月末在籍者数		59	60	59	60	60	59	58	57	59	58	59	60				

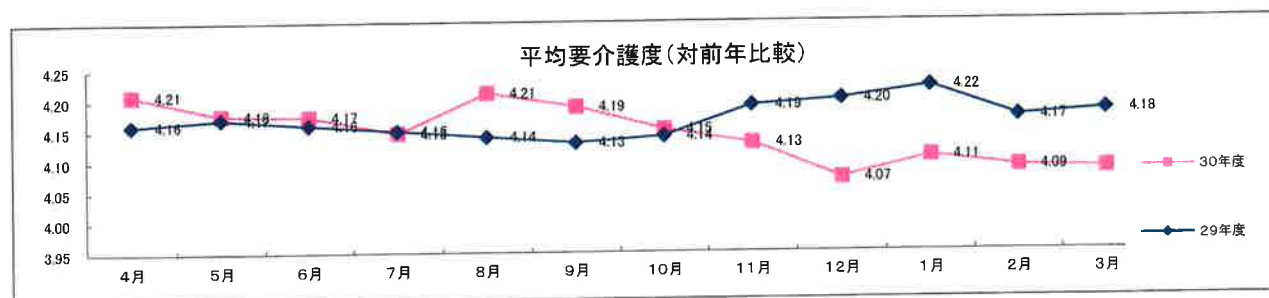
[2]要介護度別利用実績

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成 30 年度	要介護1	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	人	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
		延	0	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	335
	要介護3	人	18	18	18	18	18	19	20	18	19	20	19	19	224
		延	486	490	492	543	447	465	522	506	579	532	453	547	6062
	要介護4	人	13	13	12	12	12	10	10	12	13	12	12	13	144
		延	367	402	359	361	341	299	309	346	365	334	265	371	4119
	要介護5	人	28	28	29	29	30	30	30	29	26	28	28	27	342
		延	840	868	854	868	865	832	841	779	763	769	630	752	9661
	合計	人	59	60	60	60	61	60	61	60	59	61	60	60	721
		延	1693	1791	1735	1803	1684	1626	1703	1661	1738	1666	1376	1701	20177
	平均介護度		4.21	4.18	4.17	4.15	4.21	4.19	4.15	4.13	4.07	4.11	4.09	4.08	4.15



平均要介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	4.16	4.17	4.16	4.15	4.14	4.13	4.14	4.19	4.20	4.22	4.17	4.18	4.17
30年度	4.21	4.18	4.17	4.15	4.21	4.19	4.15	4.13	4.07	4.11	4.09	4.08	4.15



[3] 入所期間別状況

(平成31年3月31日現在)

区分	6ヶ月未満	6ヶ月以上 ~1年未満	1年以上~ 3年未満	3年以上~ 5年未満	5年以上~ 10年未満	10年以上	合計
男	1	3	6	0	2	0	12
女	9	2	16	8	12	1	48
合計	10	5	22	8	14	1	60

平均入所期間	3年3ヶ月
--------	-------

[4] 年齢別分布状況

(平成31年3月31日現在)

区分	65~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男	1	1	0	4	6	0	0	12
女	1	3	4	12	16	8	4	48
合計	2	4	4	16	22	8	4	60

平均年齢	男性 86 歳	女性 90 歳	平均 89 歳
------	---------	---------	---------

最低年齢	70 歳	最高年齢	104 歳
------	------	------	-------

[5] 身元引受人状況

(平成31年3月31日現在)

続柄	配偶者	子	孫	兄弟	甥・姪	成年後見人	その他	合計
人数	4	50	0	0	1	4	1	60

[6] 退所事由別数調

区分	死亡		長期 入院	その他	合計
	施設	病院			
退所者数	6(5)	5	2	0	13

※()内は看取り介護の数

[7] 入所前居住場所調

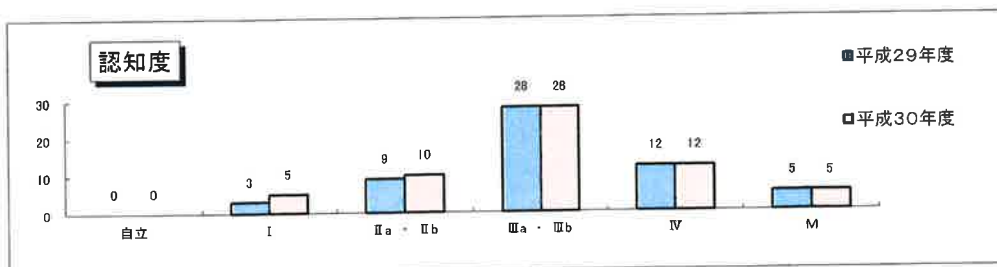
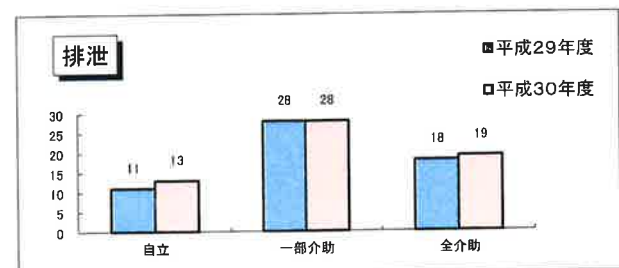
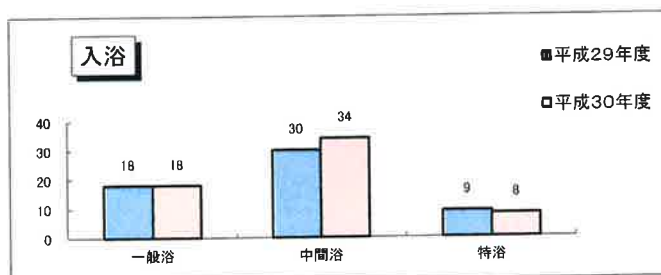
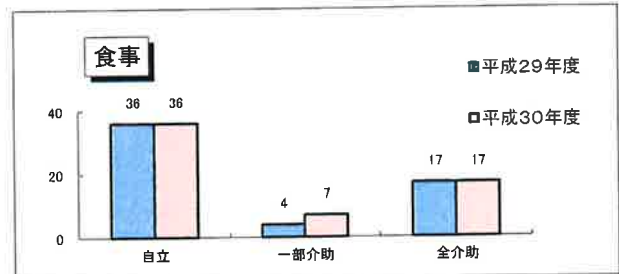
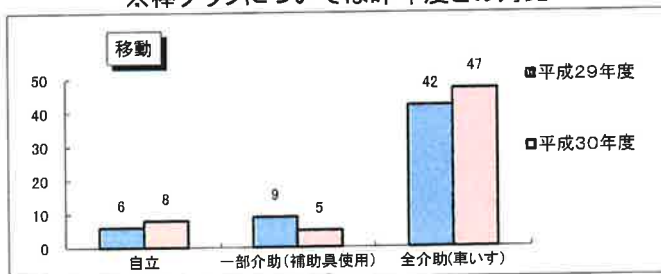
区分	在宅	療養 病院	老健 施設	療養型 施設	その他	合計
入所者数	9	3	3	0	1	16

[8]入所者の日常生活・認知度状況

(平成31年3月31日現在)

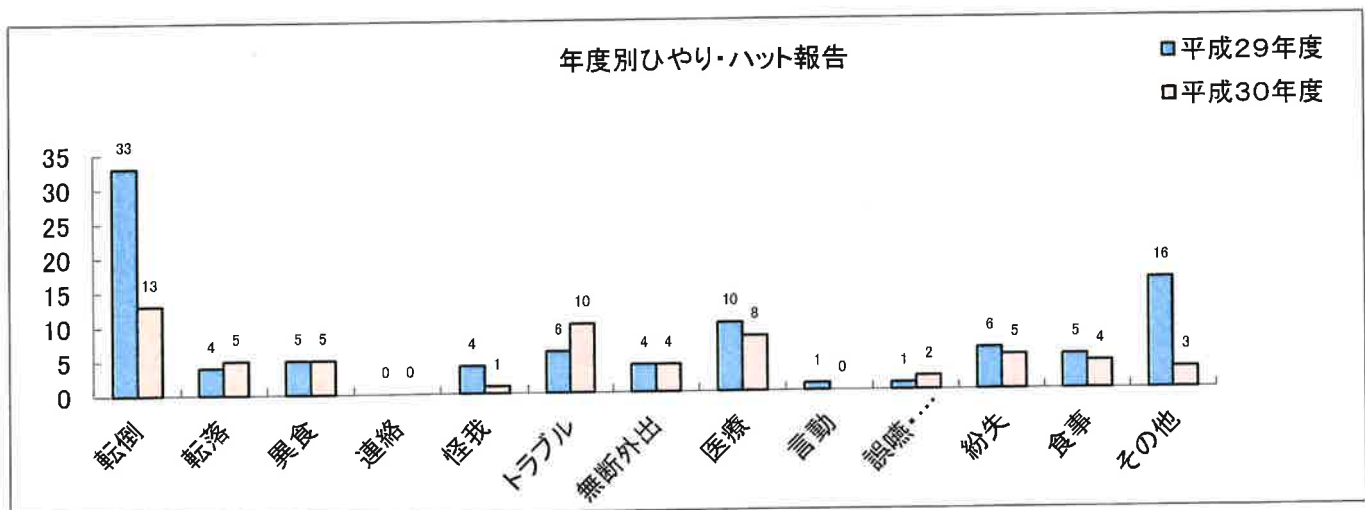
区分		29年度末	1階	2階	3階	合計	割合
移動	自立	6	1	2	5	8	13%
	一部介助(補助具使用)	9	1	2	2	5	8%
	全介助(車いす)	42	14	23	10	47	79%
食事	自立	36	13	13	10	36	60%
	一部介助	4	1	4	2	7	12%
	全介助	17	2	10	5	17	28%
入浴	一般浴	18	5	5	8	18	30%
	中間浴	30	10	18	6	34	57%
	特浴	9	1	4	3	8	13%
排泄	自立	11	3	3	7	13	22%
	一部介助	28	10	14	4	28	47%
	全介助	18	3	10	6	19	32%
認知度	自立	0	0	0	0	0	0%
	I	3	2	3	0	5	8%
	Ⅱa・Ⅱb	9	3	3	4	10	17%
	Ⅲa・Ⅲb	28	9	11	8	28	47%
	Ⅳ	12	2	7	3	12	20%
	M	5	0	3	2	5	8%

※棒グラフについては昨年度との対比



[9]ひやり・ハット報告書作成状況

区分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	33	3	2	1	2	0	1	2	1	1	0	0	0	13
転落	4	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5
異食	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	5
連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
怪我	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
トラブル	6	2	0	1	0	2	1	1	2	0	0	1	0	10
無断外出	4	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
医療	10	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	4	8
言動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥・誤飲	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
紛失	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	5
食事	5	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
その他	16	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
合計	95	7	5	5	3	4	5	8	3	1	4	7	8	60



[10] 事故報告(市への報告事故)状況

区分	事故発生日	原因	事故内容	性別	受診先	入院の有無
1	平成30年4月3日	移乗時	左下腿部裂傷	女	平成病院	無
2	平成30年5月1日	転倒	左大腿骨転子部骨折	女	淡路医療センター	有
3	平成30年7月25日	特定できず	右大腿部頸部骨折	女	洲本伊月病院	有
4	平成30年9月19日	転倒	左上腕骨頸部骨折	女	翠鳳第一病院	無
5	平成30年10月2日	転倒	右大腿部頸部骨折	女	中林病院	有
6	平成30年10月15日	転倒	右恥骨骨折	女	淡路医療センター	無
7	平成30年12月29日	転倒	左上腕骨骨頸部骨折	女	淡路医療センター	無
8	平成31年3月10日	転倒	第二腰椎圧迫骨折	女	翠鳳第一病院	無

[11] 苦情・要望状況

苦情	11件
要望	1件
意見	5件

家族	9件
利用者	8件

3 平成30年度事業計画に対する取り組みと結果

《総務部門》

[1] 総務係事務職

29年度	利用者数	利用率	介護保険収入	単価
特養(長期・短期会計)	25,101	98	286,191,210	11,402
緑風デイサービス	5,884	76	48,865,660	8,305
居宅介護支援事業所	1,608		16,496,330	10,259
小規模多機能型居宅介護事業	6,290	69	55,359,590	8,801
合計			406,912,790	

30年度	利用者数	利用率	介護保険収入	単価
特養(長期・短期会計)	24,423	95	279,931,003	11,462
緑風デイサービス	6,813	89	57,376,276	8,422
居宅介護支援事業所	1,685		14,004,150	8,311
小規模多機能型居宅介護事業	5,849	64	54,322,440	9,287
合計			405,633,869	
前年差額			-1,278,921	

- ①費用削減の為、消耗品等の物品購入一覧表を作成して、業者及び物品内容を精査した。
- ②将来の施設整備の為、2千万円の施設整備積立金を積み立てた。
- ③デイサービスでは、特殊浴槽(321万円)、送迎用の軽自動車を更新した。
また、緑風館では、ベットを15台(367万円)、ネットワークサーバー(130万円)を更新した。
- ④ホームページのブログ等で最新情報や行事、短期空き状況及び職員募集案内を発信した。
- ⑤現況報告書等(現況報告書、計算書類)の情報を公表した。
- ⑥ホームページにおいて、30年度の財務諸表(緑風だよりにも掲載)及び事業報告書を公表した。
- ⑦地域サポート施設の活動として地域高齢者の見守り活動を実施した。

見守対象者数(延べ人数)	独居高齢者7世帯(7人)
内容	・見守確認 ・医療機関への付添い ・買い物付添い ・金融機関や不在者投票等への外出支援
見守り電話	125件/年
訪問(外出)回数	141件/年

[2] 栄養係

【栄養管理委員会】

利用者へ食事が円滑に提供できるよう栄養管理委員会を月1回開催し、情報の共有、交換を行い連携を図った。

【食事サービス】

- ①各フロアで月1回行われた喫茶コーナーでは、利用者の希望を聞き取り、それに反映したメニューを提供することで笑顔に繋がった。音楽を流したり、利用者の前でたこ焼きを焼いたり雰囲気作りをした。たこ焼き、プリン、ケーキが人気であった。
- ②ご意見帳の活用として、利用者の声を献立等に反映することができた。
- ③ふれあい食事会では、委託業者と連携を図り、旬の食材の食事を提供することができた。

【各種加算状況】

平成30年度の各種加算状況は次の通りであり、収入の確保を努めた。

「経口維持加算Ⅰ・Ⅱ」加算報酬額:(Ⅰ)単価 4000円(月) (Ⅱ)単価 1000円(月)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
対象者	Ⅰ	17	17	17	17	18	16	18	17	14	14	14	12	191
	Ⅱ	15	16	16	17	17	15	16	15	12	13	13	12	177

「療養食加算」加算報酬額:一食あたり単価60円(食)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
対象者	実人数	33	33	35	35	35	35	33	33	32	32	30	29	395
	延べ食数	2886	3059	3008	3184	2926	2903	2905	2803	2885	2836	2297	1653	33345

【栄養ケアマネジメント】

- ①食事摂取量が減少した利用者には、多職種連携して栄養ケアに取り組んだ。
- ②褥瘡の発生予防及び発生後の悪化防止のため、状態に合わせた栄養管理をおこなった。
- ③夏期(7月～8月)においては、経口補水液を提供し、猛暑による脱水症を避けることができた。

《介護部門》

〔1〕 介護計画係、生活相談員（その人らしさの追求、ケアプランの充実）

① サービス担当者会議の充実

「平成30年度 職種別サービス担当者会議参加実績（年間開催日数34回）」

職種	介護支援専門員 生活相談員	看護職員	管理栄養士	介護係主任
出席回数	34回	25回	28回	32回
出席率	100%	74%	82%	94%

上表の通り、サービス担当者会議を定期開催することで利用者一人ひとりの課題を細かく検討し、専門性をもった視点で計画化することができた。ただし、退職による参加率低下やインフルエンザ等により開催できなかったセクションもあったので、今後の課題となった。来年度は職員の定着や感染症予防に努めたい。

② 地域との関わり、馴染みの場所への外出支援

花見会	9名	みどりふれあい福祉のつどい	4名
日帰り旅行	6名	ふるさとツアー	3名
ふくちゃん祭り	7名	初詣	6名
広田地区敬老会	3名		

緑風納涼祭をはじめ、餅つき会、クリスマス会等では地域の方々とふれ合える機会となった。また各種行事ではボランティア団体の方々が来館し、地域との関わりを感じることができた。

③ 多様な様式による課題分析

「平成30年度 アセスメントツールの活用実績」

アセスメントツールの種類	気づきシート	センター方式 A-3	センター方式 A-3以外
延利用者数	115名	120名	5名

利用者個々の状態に合わせた多様な書式の活用により、その人らしさの追求や自立支援を行い、生活の質の向上に繋げることができた。

④ ケアプランの効果検証

ケアプラン作成・変更の2週間後のモニタリングは37名について実施し、効果検証を行った。うち、定期更新以外の適時の変更が必要となった利用者について22名のケアプラン変更を実施することができた。

⑤ ケアカンファレンスへの参加

「本人及び身元引受人の参加実績」

区分	平成29年度	平成30年度	前年対比
開催回数	124回	132回	8回増
本人 参加回数	4回	6回	2回増
身元引受人 参加回数	122回	129回	7回増
本人及び身元引受人 参加率	100%	100%	同

「ケアカンファレンス参加者の続柄別内訳」

区分	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟姉妹	甥・姪	成年後見人	その他	合計
参加延人数	7名	92名	55名	3名	0名	5名	5名	2名	169名
割合	4%	53%	31%	2%	0%	3%	3%	1%	100%

ケアプランの見直しや家族との相談支援を綿密に行うことで身元引受人との信頼関係を深めることができた。また、土日、祝日の日程希望日も多く、家族とのスケジュールに合わせることで100%の開催率となっている。

⑥利用率維持・向上への工夫

「関係機関への訪問件数」

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10件	13件	9件	9件	11件	12件	10件	11件	11件	11件	11件	11件	129件

「新規短期入所者」

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2件	2件	2件	3件	5件	2件	2件	3件	0件	1件	0件	2件	24件

「利用率」

長期入所	92%	短期入所	116%
------	-----	------	------

毎月、平均10.7件の関係機関を訪問することで、馴染みの関係性を構築し、長期入所や短期入所等の相談を受けやすくなった。特に新たな短期入所者の相談は、月2件の利用に繋がっている。ただし、長期入所利用率が入院等に併い目標値に達しなかったため、今後は健康管理により一層留意していきたい。

〔2〕1階フロア

- ①安全面では、リスクマネジメント委員会と連携を図り、ひやりハット報告書、各種発見報告書、事故報告書において発生した時点で対応策を打ち出した。事故発生時には、看護職員と連携を図り、家族への報告を丁寧に行い、信頼と協力を得られるよう努めた。フロア会議では、各事例に対する対応結果の効果確認と見直しを行い、事故再発防止に取り組んだ。
- ②安心面では、利用者の快適な生活が送れるよう、手洗いやうがい励行を継続して実施したが、インフルエンザの発症防止には至らなかったため、次年度の重要課題とし、予防の徹底と発症時の早急な対応に努める。
- ③毎月の施設内研修後にフロア職員で集まり、利用者との良好な信頼関係作りや適切な対応方法について考える機会を設けた。また、不適切ケアに関しての勉強会も定期的を実施した。職員全員が明るく元気に活動することで利用者への良好な支援に取り組めた。
- ④各委員会と連携を図り、利用者に安定したケアの提供を行った。また、フロア会議では各委員から報告を行い、取り組む内容の確認、実施を徹底した。特に今年度は利用者の安全面を考え、朝食場所の変更や業務内容の見直しを実施したことで、スムーズな朝食支援に繋がった。
- ⑤定期の月行事以外にも館外散策、体操、カラオケ、ボーリング等のレクリエーションを実施。ホットケーキやぜんざい、クリスマスケーキ等のおやつ作りを実施することで、利用者と職員と一緒に作り、食することで楽しい時間が共有できた。また、四季折々に合わせて壁面の飾りつけ

を作成することで、季節感を味わうことができた。作業を通じて楽しく会話がはずんだ。

〔3〕 2階フロア

①自立支援として、おむつ交換対応であった利用者3名の方々が、トイレ使用移行に繋がった。

②利用者の良好な関係性を構築する中で、思いや希望などを知るきっかけとなった。

これら希望等に沿って、趣味や嗜好に合ったレクリエーションを年12回実施したことで、利用者と職員がともに楽しめた。

4月	ドライブ	9月	ボール遊び	2月	ボール遊び
6月	おやつ作り・ミニ喫茶	10月	風船バレー	3月	おやつ作り・風船バレー
	風船バレー	11月	散歩		
8月	ミニ喫茶	12月	カラオケ		

③フロア会議では、ケア内容を個別に検討し情報の共有を行うことで統一したケアが実施できた。適時のケア内容変更に加え、サービス担当者会議等においても、介護支援専門員、看護職員、管理栄養士と連携を図ることができ、より良いケアを実施することができた。

④アセスメントツール(センター方式)を2事例に対して活用し、課題に対する行動や精神症状の原因、排泄パターンが把握でき、利用者の安全と生活の質の向上に繋がった。

⑤継続事項は引継ぎ帳を活用することで確実に行うことができ統一したケアを実施することができた。

⑥居室環境の工夫として、担当者が中心となり利用者、家族が持参した物品、クラブや趣味を活かした作品等を飾ることにより、その人らしさを追求し、安心した暮らしのサポートができた。また、フロア全体における環境については、利用者が安全で快適に暮らせる環境づくりを行うことができ、古いソファの買い替えを実施することができた。

⑦感染症予防については、感染症対策(手洗い・うがい等)を行っていたが、利用者、職員と多くの感染者が発症し蔓延となった。今年度の課題を分析し、予防の徹底として持ち込まないをスローガンに職員、利用者、来館者等に手洗い、うがい、マスク着用の徹底をする。また、流行時には、感染消毒を毎日実施、換気や湿度の管理を行い、安心・安全なフロア環境を整えていく。

〔4〕 3階フロア

①利用者に関わる際には敬う気持ちを忘れずに、相手の気持ちをくみ取り、言葉づかいには留意してケアに取り組んだ。また、不適切ケア防止やリスクマネジメント等は、施設内研修で得た知識を実際のケアでも意識することで質の高いケアに繋がられた。

②フロア環境については、環境を考える会と連携を図り、テーブルやソファの位置変更等を行うことで、利用者の安全且つ快適性の向上に努めることができた。

③職員間での情報共有は日々の業務、フロア会議、委員会等で共有ができた。

個別検討した内容はフロア職員、各委員を通じて各専門職にも報告、相談することで情報共有ができ、特に食事面、排泄面、入浴面等、変更についても迅速に対応できた。

④利用者の自立支援については、担当者が中心となり、利用者のできること、困難なことを把握し、状況に応じてケアに活かすことができた。今年度は、利用者の心身状態を把握するため、アセスメントツール(センター方式)を2事例に対して活用することで、利用者の状態安定に繋げ

ることができた。

- ⑤事故報告書やひやりハット報告書、各種発見報告書等、事故リスクが発生した時には、その場で迅速に検討し、対応策を打ち出すことで事故防止、再発防止に繋がった。また、毎月フロア会議内で検討を行うとともに、リスクマネジメント委員会でも報告することで、新たな対策検討と他部署への情報共有に繋げることができた。
- ⑥行事への参加については年間行事のほか、月例行事としてショッピング、おやつ作り、すいか割り、風船バレー等を企画し、利用者と職員と一緒に参加する楽しみや喜びに繋がられた。

〔5〕 看護係

- ①利用者個々の既往歴や現疾病状況については、入所時や病変時等、生活相談員及び介護支援専門員、嘱託医と連携を図ることで状況把握に繋がっている。体調不良時には嘱託医へ報告、連絡、相談を行い指示を仰ぎ、適切な対応を実施できた。また、定期血液検査や健康診断、各種予防接種等のサポートも確実に実施できた。

血液検査	78名	健康診断	78名
インフルエンザ予防接種	55名	肺炎球菌予防	1名

- ②平成31年1月のインフルエンザ流行に伴い、マスクや手指消毒液の追加発注を行うとともに、使用換気に努めた。
- ③ポジ・トラ委員会をはじめ多職種連携による床ずれの早期発見と早期治癒に向けた処置を実施することで、床ずれ7件中、6件が治癒している。
- ④協力歯科医による定期的な歯科健診や経過観察を実施し、病変等治療の必要がある場合は連携を図り、利用者個々の状態に合わせた口腔ケアを実施することで、健康管理に努めた。
- ⑤利用者個々の機能訓練計画を策定し、3ヶ月ごとで見直しを行うことにより、利用者の心身機能の維持、改善に繋がった。
- ⑥その人らしい最期を迎えられるよう、本人及び家族の意向を尊重し、嘱託医や多職種連携を図ることで5名の利用者を看取るサポートができた。

〔6〕 委員会の充実

【リスクマネジメント委員会

- ①リスクマネジメント委員会・各フロア会議を、毎月1回行い、事故報告書の分析と個別ケア検討を実施し、再発防止に努めた。事故件数(市への報告事故)は8件であった。
- ②事故には至らない軽微なものについて報告書を集約し統計をとることで事故予防に努めた。

各種発見	535件	ひやりハット	60件	気づき	48件
------	------	--------	-----	-----	-----

- ③利用者や職員の安全面に配慮し、福祉用具に関しては安全性の高いものを活用できるように検討し買い替えを実施した。今年度は老人車、車いす各3台ずつ買い替えることで安全性や性能が向上した。また、ベッドに関しては5か年計画を立て、順次入れ替えを実施している。

【身体拘束ゼロ委員会】

- ①法人として身体拘束ゼロは継続して実施していくという固い信念のもとで日々、事故リスクの軽減に努めている。「リスクマネジメント委員会」にもあるように、積極的な課題解決を実施している。
- ②「不適切ケア」の根絶に向けて法人全体として意識の統一を図った。今年度は全職員を対象と

した館長面接を実施することで職員の思いや悩みを聴き取りながら、ケアの方向性を改めて示すことができた。また、施設内研修をはじめ、各セクションの会議内でも研修会を実施することで理解を深め、日常のケアを振り返ることができた。

【感染予防委員会】

- ①職員を対象に研修会を年2回(5月・10月)実施し、近年の施設における感染症の動向を踏まえ、感染症予防マニュアルに沿った研修会や細菌、ウイルスに関する正しい理解ができた。
- ②感染予防対策として、感染症のウイルスを施設外部から持ち込まないように、新規での長期、短期利用者、デイサービスの利用者、来館者、委託業者、ボランティア、実習生等に対し、体調確認を行うと同時に、手洗いや消毒を求める努力はしてきたが、平成31年1月にはインフルエンザウイルスによる感染症で、利用者19名(うち9名入院)、職員14名の集団感染となった。今回のことを踏まえ、実践に即した行動指針としてのマニュアル(日常時・発症時の取り組み)を見直し、全職員に周知徹底した。毎日の感染消毒実施と換気や湿度の管理をおこなった。来年度は、業務用の加湿器を導入し、乾燥しにくい環境整備の強化に努める。
また、嘱託医とはより一層の連携強化で、健康管理(利用者・職員)の情報提供をおこない早急な対応ができるように努めていきたい。来年度は職員一丸となって感染症防止の徹底をしていく。
- ③利用者の体調変化にいち早く対応ができるよう多職種連携を図ることができた。特に高熱や咳、風邪症状等あれば、看護職員を通じて嘱託医をはじめとした多職種で対応することができた。
個室や静養室での対応も行った。

【看取りケア委員会】

- ①年間計4回(4月、8月、10月、3月)委員会を開催。嘱託医にも委員会に参加して頂き、ケア方針や流れについて改めて統一することができた。また、看取りマニュアルを作成し、統一したケアに繋げる良い礎が築けた。
- ②多職種協働のもと、看護職員が中心となり終末期の段階にあるかどうかを見極めて嘱託医へ報告し、利用者や家族の意志を尊重し看取りケアへの準備をスムーズに行えた。利用者及び家族に応じて、嘱託医や看護職員、介護支援専門員等の専門職がその都度相談支援、適切な説明を行うことで、不安軽減等の心の支援を実施することができた。
- ③本人や家族の思いを尊重しながら最期を迎える居所を選択していただき心身状態に応じて、個室や静養室を準備する。逝去後は偲ぶ会を行い、故人の死を敬い、ケアの振り返りを行うことで、看取りケアの更なる見直しを行った。
- ④「看取りケア 最期を過ごされた居所」

居室	2名	静養室	1名	個室	2名
----	----	-----	----	----	----

【食と健康を考える会】

- ①KTバランスシート(口から食べる幸せをサポートするアセスメントシート)を用いて、1階2名、2階2名、3階2名の利用者に使用した。結果、姿勢への改善に取り組めた。
- ②利用者同士との関係性や食事中に見守りや介助が必要な利用者について、食事席に配慮し、都度、見直しを行った。また、個々にあった食事テーブル・椅子等を変更した。
- ③歯科医師の協力により、計53名の健診を行った。うち36名の治療を行うことができた。
- ④外部研修に参加し、委員会メンバーの知識を深めることができた。施設内研修では、歯科医師の協力により研修会を開催し、口腔ケアによる知識を深め、全職員のスキルアップに繋がった。

⑤個々にあった食事、自助具の見直 (延べ数)

	1階	2階	3階	計
食事形態の変更	20	34	17	71
自助具の変更	14	18	6	38

状態の変化に伴い、食事形態・自助具の変更を行うことで、安全で美味しく食事を楽しめた。

【排泄委員会】

- ①個別排泄ケアとして年2回(6月と12月)尿量測定と、定期的な見直しを実施し、10名の方が排泄用具の変更を行う事ができた。
- ②紙パンツから下着(コットンパンツ)へ、8名の方に対して見直しを行う事で快適性を追求することができた。
- ③スムーズな排便への取り組みとして、60件の事例を検討した結果、21名の方は継続して効果が表れた。
下剤の服用と浣腸の回数も減少しており、スムーズな排便への取り組みに繋がっている。

スムーズな排便への取り組み実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1階	6	6	3	4	2	2	1	3	2	2	2	3
2階	3	1	0	0	0	1	0	0	2	2	1	9
3階	5	2	2	1	0	0	0	3	0	2	2	3

- ④おむつ交換やトイレ案内の際、プライバシーを守る取り組みを行った。エコバッグを使用することで、排泄に行くときと悟られないように配慮できた。
- ⑤業者による研修会に参加し、おむつの当て方や新商品に関する知識を習得できた。
新商品を試行観察する事で利用者にとって快適な排泄用具の検討ができた。また複数の業者のコットンパンツを取り入れることで、利用者の選択肢が増えて質の向上に繋がった。

【入浴委員会】

- ①ヒヤリはっと報告内容については、リスクマネジメント委員会と連携を図り、入浴委員会議やフロア会議で対応について検討を行い、入浴に関する事故予防、再発防止に向け検討と改善を迅速に行い、利用者にとっての安全な入浴になるよう取り組んだ。
- ②脱衣所や浴室の環境について、機械浴槽やシャワーの修理、ボディソープやシャンプー等の補充不足のないよう留意した。また曜日別入浴表や貴重品所持者一覧表の随時変更、および個人別入浴ケア方法一覧表を定期的(5月・8月・11月・2月)に更新し、入浴介助に携わる職員が統一したケアを行えるよう支援した。
- ③個別入浴ケアとして、年2回(6月・12月)に利用者アンケートを実施し、個々の好みの温度や入浴時間の希望の他、入浴介助方法(一般浴・個浴・リフト浴・特浴・中間浴・シャワー浴)を利用者の状態に応じて適切となるよう調整した。
- ④利用者の「お風呂が楽しみ」を追求し、季節湯を利用者アンケートや希望の他、実施後の評価も参考にしながら、季節にあったものを4月と1月以外毎月実施した。利用者から喜びの声をいただいた。また環境面(音楽や室温)の配慮や入浴剤も随時併用し、いつでも快適な入浴を楽しんで頂けるよう取り組んだ。年2回(6月・12月)の浴室および脱衣所の大掃除を実施した。排水溝の清掃や普段目の届きにくい部分までこだわって実施した。浴室の美化と衛生環境の向上に繋がった。

- ⑤入浴に関する研修として、入浴委員会議で入浴介助 についての研修会を行った。知識の向上および普段の入浴業務に活かす事ができた。またクッションやバッテリー等古くなり使えなくなった入浴関連物品の入れ替えを行った。

【認知症委員会】

- ①「ふるさとツアー」を企画し、3名の利用者が参加した。自宅に帰られた方、自宅周辺を散策し昔を懐かしまれた方、家族と一緒に思いでの場所で共に過ごした方、と様々に楽しまれた。
- ②1階1名、2階1名、3階2名の合計4名の方にセンター方式の個別アセスメントシートを活用した。1階は、新規の利用者の情報収集と生活のリズムの把握としてツールを活用することで、新しい気づきに活かした。2階は、周辺症状行動心理の分析を図るため、活用し個別ケアに活かした。3階は、新規の利用者の現存能力の把握と、趣味嗜好に合わせた個別ケアの実施や個々の思いを知る為に活用し、理解に繋げることができた。
- ③言葉かけ・不適切ケア(身体拘束)のアンケートを実施した。アンケート結果をもとに2月の施設内研修で、身体拘束に繋がる言葉かけや不適切ケアについて考えた課題を元に実演し、日々のケアを振り返る事ができた。
- ④アニマルセラピーに関して、主に1階1名、2階1名、みどりの家1名の利用者を対象に餌やり・水の交換・小屋の掃除を職員と一緒に行う事ができ、日々の日課となる事に繋がった。うさぎ(風ちゃん)と触れ合う事で、精神不安定が軽減し、癒しの効果により落ち着きがみられるようになった。
- ⑤委員メンバーで研修会を開き、四大認知症と認知症からみられる、行動心理・周辺症状を理解し、全職員への周知に努めた。

【環境を考える会】

- ①利用者の個性に合わせた環境づくりに取り組み「私らしく」快適な生活を過ごしていただけのように支援した。その結果、年間を通して30ヶ所を改善することができた。

【1階】合計5ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

活用していなかったテーブルを移動することにより、ソファの配置の変更が可能となり、利用者の居場所ができた。

【2階】合計6ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

全居室ののれんを変更したことによってフロア・個室棟が明るくなった。利用者より『新しくなってよかった。』と声が聞かれた。

【3階】合計5ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

ゆっくりとこたつに入り、落ち着いて過ごせる空間となった。そこで過ごされている利用者間の会話も増えた。

【デイ】合計8ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

自身の名前を確認する利用者が増加した。自らの役割を認識して行動を決定するようになった。

【事務所】合計3ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

季節を感じていただけていると思う。利用者の作品を掲示したり、飾りつけを利用者に手伝っていただくことにより、その人の持っている力を発揮できる場所としても有効となった。

【みどりの家】合計3ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

ソファを、玄関に背を向けて置くことで、落ち着いて過ごしやすくなった。テレビの位置も移動することで、どの角度からも鑑賞でき、場所取りすることがなくなった。

②キャプションシート(環境評価シート)を活用することにより、他のセクションの評価を行った。結果、各セクションの良いところ、悪いと感じられるところを客観的にとらえることができた。そして、悪いととらえられた5ヶ所の環境を各セクションが改善に取り組んだ。

③「環境」、「キャプション評価法」について勉強会を実施し、委員会のスキルアップを図った。

④平成29年度の取り組みに対して見直しを行った結果、7ヶ所を改善し、24ヶ所は継続して改善した環境を維持している。

【ポジショニング・トランスファー委員会】

①身体の構造や動き等のメカニズムについて理解をする為、シーティング・ポジショニング床ずれについて以前研修に参加した資料やコンパクトガイドを使用して研修会を行った。不良姿勢による体への影響や快適な姿勢をサポートする方法を学び、実践に活かした。

②外部研修(生きるを支えるケア・シーティングの効果に驚くその知識と実践)に参加して研修報告を行うことで、知識を深める事ができたが、実践には至らなかった。

- ③シーティングシートを3名の利用者に使用し安楽で活動しやすい姿勢が保てるよう支援する事ができた。
- ④ポジショニングシートを2名の利用者に使用してクッション等の使用方法を明確にして体位交換を行う事で拘縮、床ずれ予防に繋げる事ができた。
- ⑤発赤判定ツール・シートを5名の利用者に使用し早期治療、発生予防に繋げる事ができた。
- ⑥3月現在床ずれのできている利用者は1名である。
- ⑦利用者にやさしいケアを実践するため、移乗介助に使用しやすいスライディングボード、シート、アームサポートクッションの試行を行った。結果、特養では、導入に至らなかった。が、みどりの家でスライディングシートを取り入れ、負担のない移乗が可能となった。
- ⑧楽ワザ介護術の習得の為の実践や、スライディングシートとクッションを使用した移乗方法の研修会を実施する事ができた。

【広報委員会】

- ①広報誌を年に3回発行し、利用者・家族・他施設・地域の方に配布し、緑風会の情報を発信した。

	発行日	部数	配布先
緑風だより	9月10日	300部	<ul style="list-style-type: none"> ・特養、デイ、みどりの家の利用者家族 ・他施設、事業所、みどり診療所 ・緑風館来訪者、民生委員など
	12月10日	300部	
	3月10日	300部	

- ②ホームページの更新はページ自体を一新する為、業者に依頼し、原案を作成した。
- ③ホームページのブログ、フェイスブック等を利用し、行事や普段の生活を発信した。
今年フェイスブックに21件、ブログに16件投稿した。またホームページの閲覧数は13449回で前年度より1000回程度、閲覧数は増えていた。

【衛生委員会】

〈安全関係〉

- ①4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)活動の実施
各部署にて「これだけはやろう」「これだけはやめよう」と目標を設定する事で具体的に1年間、4S活動に取り組めた。また各部署に責任者をおく事で4S活動を定期的にチェックし、衛生面の確保、改善に努めた。
- ②労働災害の予防及び改善
労働災害が予測できる「作業環境」や「作業内容」「疾患等罹患リスク」を定期検証することで災害発生について予測し、その結果予防に繋がり、労働災害は0件であった。

区分	作業環境検証数	作業内容検証数	罹患リスク検証数
外部・玄関	1	0	1
事務所	3	1	1
デイサービス	1	0	0
特養	5	2	8
みどりの家	4	3	4
合計	14	6	14

- ③施設内の床材等の補修・改修

法人内の床材等の剥離や劣化箇所について年1回調査を行い修理することで、安全で快適な環境作りに取り組んだ。今年度は前年に比べ20件、補修箇所が増えた。

区分	緑風館	みどりの家
修繕必要箇所数	36件	0件

〈衛生関係〉

- ①定期健康診断は夏季、冬季の二期に実施した。有初見者には二次検査受診を促すことで、職員の健康保持に繋げた。
- ②メンタルヘルスは、9月にストレスチェックを全職員76名対象に実施し、12名の高ストレス対象者という結果になった。高ストレス対象者には、産業医にいつでも相談できる体制をとって対応した。
- ③腰痛検査は、年2回実施。また腰部保護ベルトの使用状況調査を継続的に行い、状況の把握と改善また予防に繋げた。

腰痛ベルト使用率は前年度43.84%に比べ、今年度は5.38%減少した。

	常用	頻繁	痛い時	ほぼ未使用	夜勤時のみ	未使用	使用率
腰部保護ベルト 使用者数 (総数78名)	10名	1名	11名	7名	1名	48名	38.46%

【地域交流委員会】

- ①11月に地域住民を対象とした介護者教室を開催できたが、出前講座は行うことができなかった。
- ②各種団体との交流として、愛宕神社の春・夏まつり(3月・7月)の準備の手伝いをした。また、広田梅林梅まつりに参加し、ピラ配りのお手伝いできた。共に地域の行事に協力することができた。
- ③10月に南あわじ市「食と文化の市民まつり」に参加して「いも煮」を販売し地域住民との交流を図った。100食用意した「いも煮」は好評で、午前中で完売した。
- ④地域サポート設事業として、独居高齢者を対象とした見守りや外出支援を実施した。いつまでも慣れ親しんだ地域で暮らすことができるように支援することができた。(3月末登録5名)
また、1階ホールをいきいき百歳体操やサークル活動の方々に場所提供ができた。
- ⑤近隣地区の高齢者ニーズ把握として、近隣の不藤・広田南地区に関して、潜在ニーズの早期発見に繋げるため、不藤地区の高齢者マップを不藤地区長と情報交換のうえ作成した。

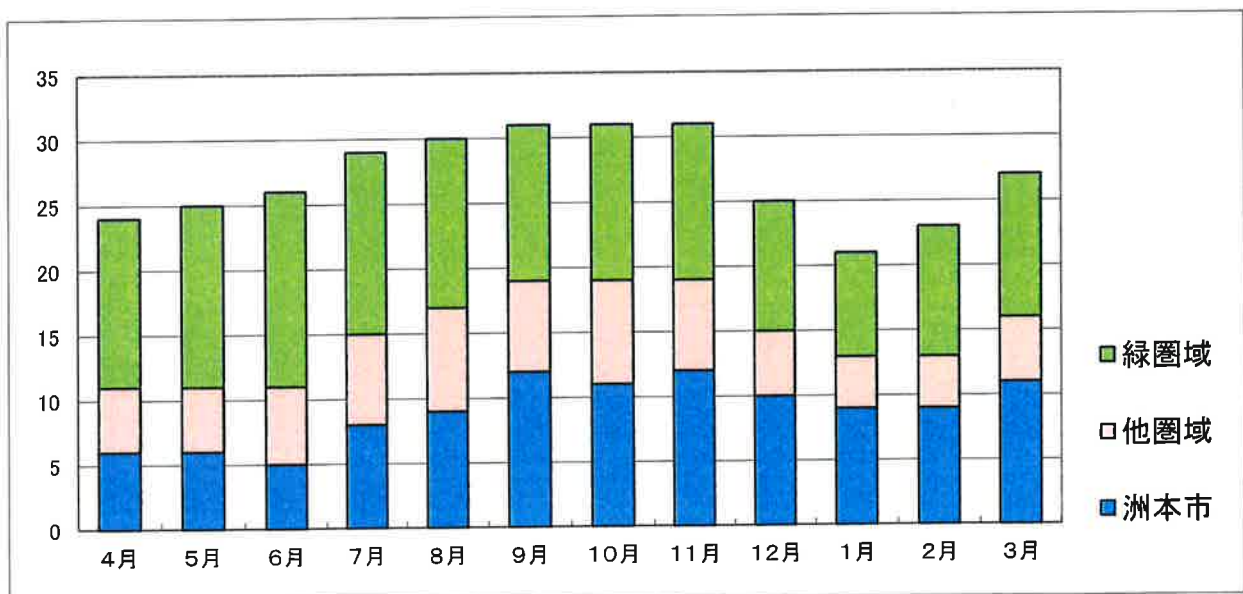
Ⅲ 短期入所生活介護事業

1 施設 の 概 要

- [1] 名 称 特別養護老人ホーム 緑風館
- [2] 所 在 地 兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- [3] 開 設 平成6年6月20日
- [4] 設 置 運 営 社会福祉法人 緑風会
- [5] 定 員 10名

2 市町別利用状況

区分		平成30年度												合 計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
南あわじ市	緑圏域	実人数	13	14	15	14	13	12	12	12	10	8	10	11	144
		延人数	186	205	185	173	148	176	187	156	129	100	131	162	1938
	他圏域	実人数	5	5	6	7	8	7	8	7	5	4	4	5	71
		延人数	74	92	123	150	150	147	150	131	121	87	75	105	1405
洲本市	実人数	6	6	5	8	9	12	11	12	10	9	9	11	108	
	延人数	72	59	43	35	93	105	64	77	88	73	70	124	903	
実人数合計		24	25	26	29	30	31	31	31	25	21	23	27	323	
延人数合計		332	356	351	358	391	428	401	364	338	260	276	391	4246	



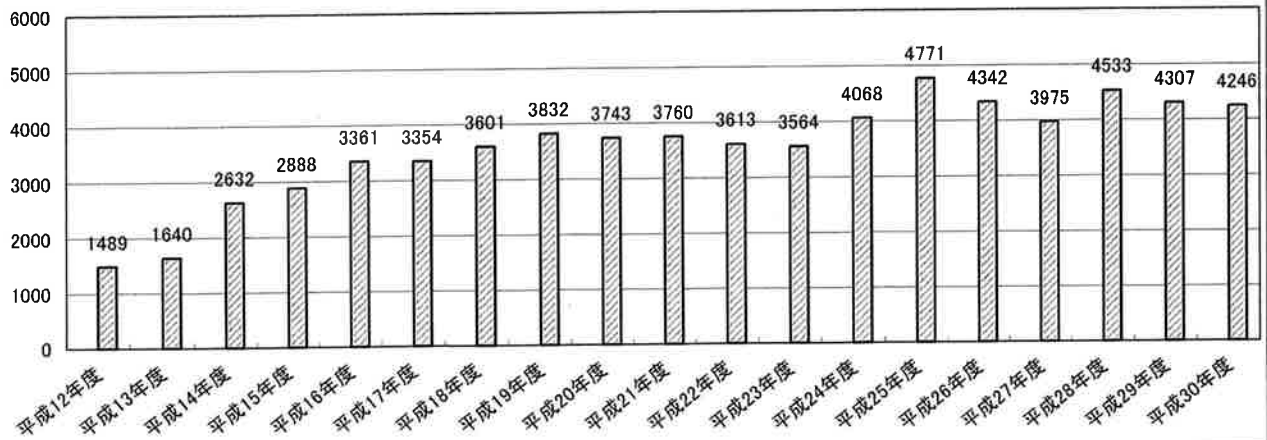
3 利 用 実 績

〔1〕年度別延利用実績

合計(延べ利用日数) 平均(1日あたり利用人員)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
平成12年度	38	98	140	94	75	103	114	114	152	149	194	218	1489	4.1
平成13年度	122	83	180	152	147	92	144	78	118	165	184	175	1640	4.5
平成14年度	208	205	220	208	261	216	234	226	236	249	200	169	2632	7.2
平成15年度	210	258	265	239	309	258	228	241	230	229	203	218	2888	7.9
平成16年度	247	273	282	275	266	226	277	329	308	306	265	307	3361	9.2
平成17年度	222	295	290	315	276	274	282	227	296	294	263	320	3354	9.2
平成18年度	308	338	349	381	330	288	304	241	246	283	259	274	3601	9.9
平成19年度	283	320	295	257	316	307	365	360	323	289	359	358	3832	10.5
平成20年度	294	294	286	274	326	320	342	316	354	328	289	320	3743	10.2
平成21年度	316	315	294	332	316	296	300	312	296	314	306	363	3760	10.3
平成22年度	320	332	321	312	295	285	302	262	241	264	305	374	3613	9.9
平成23年度	340	323	289	274	283	280	272	295	308	306	295	299	3564	9.7
平成24年度	361	385	364	325	331	333	325	311	340	355	316	322	4068	11.1
平成25年度	334	372	397	326	446	420	405	379	396	416	426	454	4771	13.1
平成26年度	408	362	355	363	375	362	345	349	373	381	321	348	4342	11.9
平成27年度	305	359	331	330	348	324	236	303	354	349	331	405	3975	10.9
平成28年度	420	324	330	421	413	381	405	358	368	436	363	314	4533	12.4
平成29年度	333	374	371	375	393	353	382	349	367	394	322	294	4307	11.8
平成30年度	332	356	351	358	391	428	401	364	338	260	276	391	4246	11.6

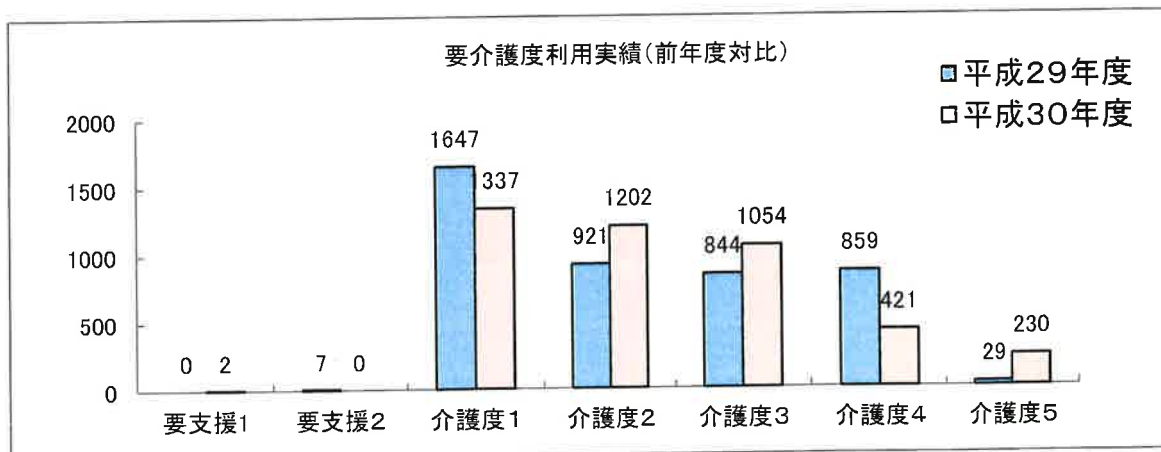
年度別利用延実績推移



[2] 要介護度別利用実績

区分		29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援2	人	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護1	人	114	9	8	9	9	9	8	10	9	7	6	7	10	101
	延	1647	113	117	128	141	106	100	119	109	88	77	107	132	1337
	平均	14.4	12.6	14.6	14.2	15.7	11.8	12.5	11.9	12.1	12.6	12.8	15.3	13.2	13.2
要介護2	人	84	4	4	6	7	7	8	8	7	6	5	4	6	72
	延	921	54	68	90	95	108	137	142	130	115	86	74	103	1202
	平均	11	13.5	17.0	15.0	13.6	15.4	17.1	17.8	18.6	19.2	17.2	18.5	17.2	16.7
要介護3	人	73	8	8	6	8	10	9	9	9	8	7	7	8	97
	延	844	113	94	86	71	113	124	70	63	88	63	55	114	1054
	平均	11.6	14.1	11.8	14.3	8.9	11.3	13.8	7.8	7.0	11.0	9.0	7.9	14.3	10.9
要介護4	人	39	2	3	3	3	2	5	3	5	3	2	3	3	37
	延	859	46	42	13	16	34	61	59	48	33	10	17	42	421
	平均	22	23.0	14.0	4.3	5.3	17.0	12.2	19.7	9.6	11.0	5.0	5.7	14.0	11.4
要介護5	人	6	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	0	15
	延	29	6	35	34	35	30	6	11	14	14	24	21	0	230
	平均	4.8	0.0	17.5	17.0	17.5	0.0	0.0	11.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3
合計	人	318	24	25	26	29	30	31	31	31	25	21	23	27	323
	延	4307	332	356	351	358	391	428	401	364	338	260	276	391	4246
	平均	13.5	13.8	14.2	13.5	12.3	13.0	13.8	12.9	11.7	13.5	12.4	12.0	14.5	13.1

※ 人(実人員) 延(延べ利用日数) 平均(ひとり当り利用日数)



IV 通所介護事業

1 施設の概要

- [1] 名 称 緑風デイサービスセンター
- [2] 所在地 兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- [3] 開 設 平成6年7月1日
- [4] 設置運営 社会福祉法人 緑風会
- [5] 利用定員 30名

2 利用者状況

[1] 月別利用者数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実開所日		21	23	21	22	23	20	23	22	20	18	20	21	254
新規利用	要支援	0	1	0	1	0	1	0	3	0	0	1	0	7
	要介護	2	2	0	2	1	0	2	0	0	1	1	0	11
要支援	実	10	11	11	11	11	11	11	14	14	15	17	16	152
	延	70	93	79	81	85	65	81	88	83	73	93	96	987
要介護	実	41	43	43	43	45	41	44	44	43	41	38	42	508
	延	469	522	465	500	549	434	539	520	485	379	477	487	5826

(注) 平均は、少数点以下第2位を四捨五入しています。

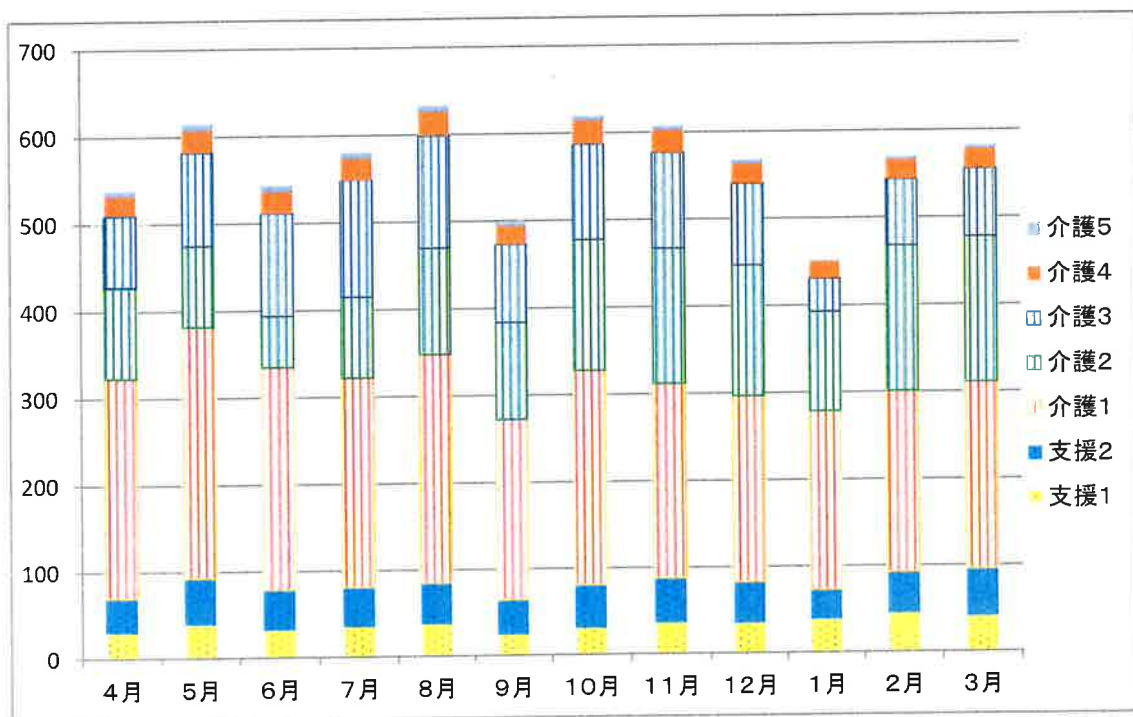
[2] 利用平均数

開所日数	254	月平均	567.8	1日平均	26.8
------	-----	-----	-------	------	------

3 要介護度別利用実績

[1]平成30年度

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要支援1	人	5	5	5	5	5	5	5	7	7	8	10	9	6.3
	延	30	39	32	35	37	24	31	36	35	38	45	41	35.3
要支援2	人	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	6.3
	延	40	54	47	46	48	41	50	52	48	35	48	55	47.0
要介護1	人	22	24	23	21	21	20	20	19	20	19	18	19	20.5
	延	253	289	256	241	263	208	247	224	214	206	208	215	235.3
要介護2	人	8	7	6	8	9	9	10	11	10	12	11	13	9.5
	延	105	93	59	93	122	111	150	155	150	114	167	167	123.8
要介護3	人	8	9	11	11	12	9	10	11	10	7	6	7	9.3
	延	82	107	118	134	129	90	110	110	94	38	76	78	97.2
要介護4	人	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2.1
	延	23	26	25	25	28	21	27	26	23	20	23	23	24.2
要介護5	人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	延	6	7	7	7	7	4	5	5	4	1	3	4	5.0
合計	人	51	54	54	54	56	52	55	58	57	56	55	58	55.0
	延	539	615	544	581	634	499	620	608	568	452	570	583	567.8



4 年齢別利用者状況

(平成31年3月31日現在)

区分	60歳代	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
予防	0	3	3	4	7	17
介護	1	1	10	16	13	41
計	1	4	13	20	20	58

区分	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	65	91	84.1
女	77	100	87.8
全体			86.0

5 利用者の居住状況

[1] 地区別利用者数

南あわじ地区

区分	広田広田	広田中筋	山添	中条徳原	中条広田	倭文庄田	倭文長田	志知志知	松帆志知川	市青木	市福永	榎列山所	神代社家	合計
男	1	4	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	10
女	3	12	1	1	2	3	1	0	2	1	0	0	1	27
計	4	16	3	1	2	3	1	1	2	1	1	1	1	37

洲本地区

区分	前平	木戸	宇山	大野	千草	納	宇原	鮎屋	池内	物部	上内膳	鳥飼	合計
男	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	4
女	2	0	1	2	1	2	0	4	1	1	1	2	17
計	2	1	1	2	1	2	1	6	1	1	1	2	21

[2] 世帯構成別利用者数

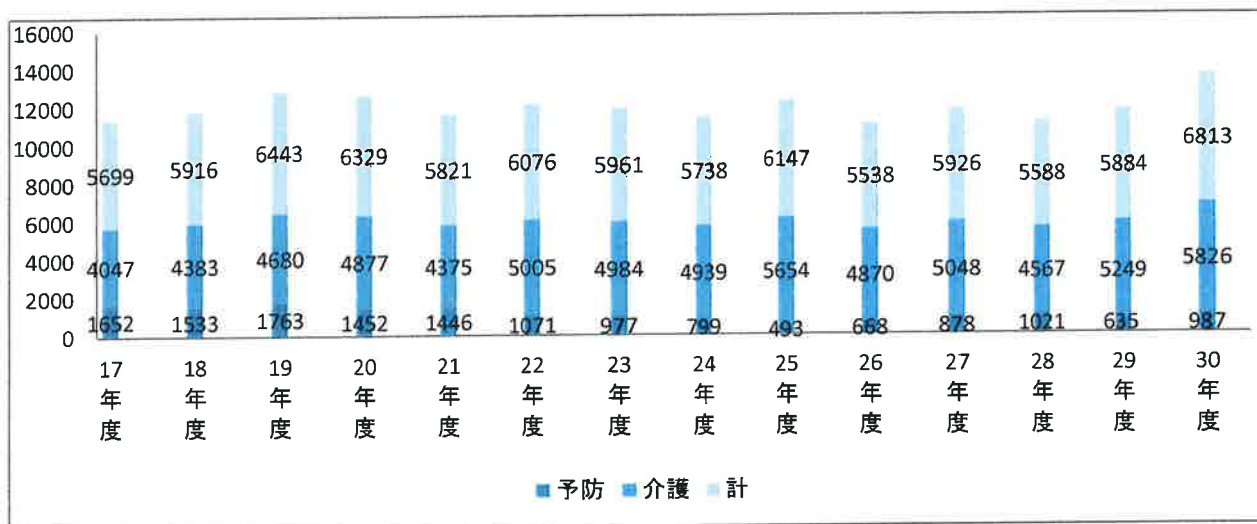
区分	家族同居	老人夫婦	独居	合計
予防	8	2	7	17
介護	30	3	8	41
計	38	5	15	58

6 過去利用者状況

(平成31年3月31日現在)

過去利用状況 (定員30名)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予防	1652	1533	1763	1452	1446	1071	977	799	493	668	878	1021	635	987
介護	4047	4383	4680	4877	4375	5005	4984	4939	5654	4870	5048	4567	5249	5826
計	5699	5916	6443	6329	5821	6076	5961	5738	6147	5538	5926	5588	5884	6813



7 個別機能訓練加算人数

「要支援訓練加算」 生活機能向上グループ加算:100単位 運動器機能向上加算:225単位 /月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活機能向上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
運動器機能向上	11	8	8	8	8	7	8	10	13	12	13	14	120

「要介護個別訓練加算人数」 個別機能訓練加算Ⅰ:46単位 /人 個別機能訓練加算Ⅱ:50単位 /人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
個別機能Ⅰ	人	39	43	43	42	46	41	43	44	43	41	38	41	504
	延	465	535	478	509	561	418	501	507	436	362	458	461	5691
個別機能Ⅱ	人	21	22	22	20	22	20	21	21	19	17	17	16	238
	延	257	294	257	264	287	217	277	255	219	167	219	213	2926

「認知症加算人数」 認知症加算:60単位 /人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	8	8	8	9	10	10	11	9	10	9	7	7	106
延	83	98	90	99	127	105	110	98	103	79	96	88	1176

8 今年度も、活動・参加・体験を含めた社会参加や利用者の生活意欲を引き出し、自立支援に繋げるための「役割」「自主性」に重視した計画に取り組むことができた。

①個別や5人グループの小集団での運動



②生活活動を生かした運動





洲本市宇山 平岡農園



淡路市郡家 薫寿堂



淡路市中田 淡家



洲本市桑間 はま寿司



南あわじ市八木 イルローザ



南あわじ市神代 菓のん

9 事業計画に対する取り組みと結果

- ①平成30年度稼働90%以上実現を目標に、新規利用者は、要支援7名、要介護者11名と登録増加。
現利用者の追加利用や振替え利用を推進し、結果、一日の平均利用者は27名と目標を達成できた。
- ②居宅事業所のケアマネとの信頼関係構築の取り組みとして、利用者の活動場面の写真やレク時の作品を贈答したりと、デイでの様子を見える化することで効果があった。
- ③キャンセル者の対応として、理由を情報収集することで、振替え利用、提供時間の変更など利用者・家族のニーズに合わせた利用提供できた。
- ④入院者の対応として、毎月入院先に訪問し、状態把握に努めた。結果、再利用計画の見通しが早期に立てることができスムーズに再利用していただけた。
- ⑤利用者の活動写真を家族に提供し、デイ利用時の様子を伝えることで、安心と信頼できるデイサービスを知っていただくことができた。
- ⑤広報活動として、広報誌を年3回発行した。また、ケアマネ見学会(1月~2月)を行い、日頃のデイの様子を見学することで、事業の取り組みを共感していただけたことを実感できた。
- ⑥サービス利用を拒否する利用者に対しては、ケアマネと同行訪問した。また、見学や体験利用に結びつけた。
- ⑦安全と安心のある環境作りについて、徹底した手洗いと消毒を実施するとともに、家族との連携により体調管理に努めた結果、デイ利用者の感染症発生を防止することができた。
- ⑧個々に応じて役割を生かし、クラブ・機能訓練・作業等活動の工夫に力を入れた結果、利用者の自主的な行動に結びつけることができた。
- ⑨地域貢献として、利用者が作った雑巾(300枚)を、広田小中学校・保育所、倭文小学校・保育所に寄贈し、大変喜んでいただけた。

V 小規模多機能型居宅介護事業

1 施設の概要

- [1] 名 称 みどりの家
- [2] 所在地 兵庫県南あわじ市広田広田424-1
- [3] 開設 平成21年4月1日
- [4] 設置運営 社会福祉法人 緑風会
- [5] 利用定員 登録 25名 通い 15名 泊まり 9名
- [6] 土地・建物 敷地面積 247.93㎡(借地)
- 建物構造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
- 建物延面積 372.48㎡

2 事業実績報告

[1] 月別登録者数・サービス利用状況

区分	登録 人数	通い		泊り		訪問	
		実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4月	17	17	419	9	236	2	7
5月	16	16	424	8	238	2	12
6月	16	16	416	8	219	2	27
7月	17	17	416	9	205	3	35
8月	16	16	419	10	215	2	50
9月	15	15	382	9	196	3	34
10月	15	15	373	8	205	5	75
11月	16	16	366	9	206	6	96
12月	16	16	401	9	211	5	113
1月	17	17	400	9	232	6	155
2月	17	17	395	10	207	5	133
3月	19	19	430	9	230	7	182

[2]地域・男女別登録者の状況

地域	男性	女性	合計
広田中筋	0	4	4
広田広田	1	7	8
中条中筋	0	1	1
山 添	0	2	2
倭文長田	0	1	1
倭文庄田	0	1	1
倭文流	1	0	1
合 計	2	16	18

[平成31年3月31日現在]

[3]要介護度別登録者の状況

区 分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	※平均 介護度
4月	0	1	6	2	4	2	2	17	2.41
5月	0	1	5	2	4	2	2	16	2.49
6月	0	1	5	2	4	2	2	16	2.49
7月	0	1	5	2	5	1	3	17	2.58
8月	0	1	4	2	5	1	3	16	2.68
9月	0	1	4	2	4	1	3	15	2.66
10月	0	1	4	1	5	1	3	15	2.73
11月	0	2	5	0	5	1	3	16	2.55
12月	0	2	5	0	5	1	3	16	2.55
1月	0	2	4	1	5	2	3	17	2.69
2月	0	2	3	1	6	2	3	17	2.81
3月	1	2	5	1	5	2	3	19	2.50
平均	0.08	1.42	4.58	1.33	4.75	1.50	2.75	16.4	2.60
割合	0.5%	8.6%	27.9%	8.1%	28.9%	9.1%	16.8%		

※平均介護度:要支援1は0.73、要支援2は0.89で計算

3 平成30年度事業計画に対する取り組みと結果

[1]年間行事の状況

利用者の人格の尊厳、人権の尊重を最優先に支援し、その人らしく自立した日常生活が送れるように心掛け、行事を実行することができた。

月	年間行事
4月	お花見【鮎屋の滝】(3/31日・5名、4/1日・4名、3日・5名)
5月	広田小中運動会見学(19日・11名)
6月	外食会(中止)
7月	七夕祭り(6日・12名)
8月	夏祭り(2日・16名)
9月	敬老会(19日・15名)
10月	運動会(12日・13名) さつまいも収穫:(20日・1名)
	外食会:イルローザ(11日・4名)喫茶カプチーノ(31日・7名)
11月	外食会:コパン円行寺・なないろ館足湯(14日・5名)(15日・4名)(29日・3名)
	外食会:マクドナルド(19日・2名)
12月	クリスマス会(24日・13名)
	もちつき会(26日・16名)
1月	新年会(30日・14名)
2月	豆まき会(1日・14名)
	広田梅林散策(26日・10名)
3月	ひな祭り会(1日・14名)

年間行事報告



4月
お花見



7月
七夕祭り



8月
夏祭り【さわやかサークル】



9月
敬老会【山添なかよし会】



10月
運動会



10月
外食会【喫茶カプチーノ】



10月
さつまいも収穫



11月
外出会【なないろ館足湯】



12月
クリスマス会



12月
もちつき会



1月
広田小中保合同避難訓練



1月
消防訓練



1月
新年会【つくしの会】



2月
豆まき会



3月
広田梅林散策

[2]ひやりハット報告

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	3		1		1			1		2	5	1	14
転落		1			1		2				1	1	6
剥離	1			1	1	1							4
打撲	1								1				2
異食	1	1											2
紛失				2				1			2		5
連絡	1	1	1										3
送迎		1	1	1			1					1	5
医療	2	1	2		1				1	1	2	2	12
言動			1										1
怪我	1					1			1				3
その他	5		1			1		1	1	3	1		13
合計	15	5	7	4	4	3	3	3	4	6	11	5	70

[3]事故報告(市への報告事故)状況

	事故発生日	原因	事故内容	性別	受診先	入院の有無
1	平成30年4月18日	転倒	左橈骨遠位端骨折	女	鈴木整形	無
2	平成30年11月29日	低温火傷	右大腿部・右下腿部水疱	女	みどり診療所	無
3	平成30年12月15日	打撲	頭部皮下血腫	女	翠鳳第一病院	無

[4]その他

- ①ボランティアの受入れ(夏祭り:老人会さわやかサークル、敬老会:山添なかよし会、新年会:つくしの会
朗読:グリーンポエム1回/2ヶ月)で地域交流ができた。
- ②地域の防災活動(広田中田地区の防災訓練、広田小中保合同避難訓練)に参加した。
- ③毎月1回パンの出張販売と同時に、喫茶コーナーを開催した。10名ほどの地域住民の方も来られ、地域のサロンの役割を担うことができた。
- ④登録20名を目標としていたが達成できなかった。月平均16.4名の登録であった。
- ⑤地域の営農団体等主催のさつまいもオーナーになり、植え付けから収穫まで利用者と一緒に参加できた。
- ⑥夏祭り終了後、家族の方々にご意見・ご要望をうかがう機会を設けているが、参加者が減少してきている。
今後、参加の促しが必要と考える。
- ⑦運営推進会議は、年6回実施。又、運営推進会議を活用した外部評価では、運営推進会議委員から公正・中立な第三者の意見・評価をいただいた。サービス運営に反映させていきたい。
- ⑧緑地区地域ケア会議に出席し、地域のニーズ把握をし、地域の関係者と連携を図ることができた。
- ⑨病院へは受診付添いと送迎を行うことで、医療機関への情報提供をスムーズに行うことができた。
馴染みの地域で安心して暮らし続ける支援ができた。
- ⑩個々の生活の中で、野菜作り及び収穫・洗濯たたみ・裁縫・おやつ作り・掃除・調理を職員と一緒に
に行い、日常生活が維持できるよう支援した。

VI 居宅介護支援事業

1 施設の概要

[1] 名 称	社会福祉法人 緑風会 緑風館
[2] 所在地	兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
[3] 開設	平成11年10月1日
[4] 設置運営	社会福祉法人 緑風会
[5] 併設施設	特別養護老人ホーム 緑風館

2 新規登録者数

区分	29年度	30年度												合計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要支援 (1,2)	33	1	3	1	0	1	0	2	6	1	2	1	1	19	1.6
要介護 (1~5)	30	1	5	0	4	0	0	2	0	2	2	1	1	18	1.5
合計	63	2	8	1	4	1	0	4	6	3	4	2	2	37	3.1

内訳

区分	29年度	30年度												合計	平均	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
要支援	33	1	3	1	0	1	0	2	6	1	2	1	1	19	1.6	
要介護	直接依頼	13	1	4	0	2	0	0	1	0	1	1	1	0	11	0.9
	要支援から 変更	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0.2
	他事業所 から変更	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	連括 携から 室・依頼	6	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	4	0.3
合計	57	2	8	1	4	1	0	4	6	3	4	2	2	37	3.1	

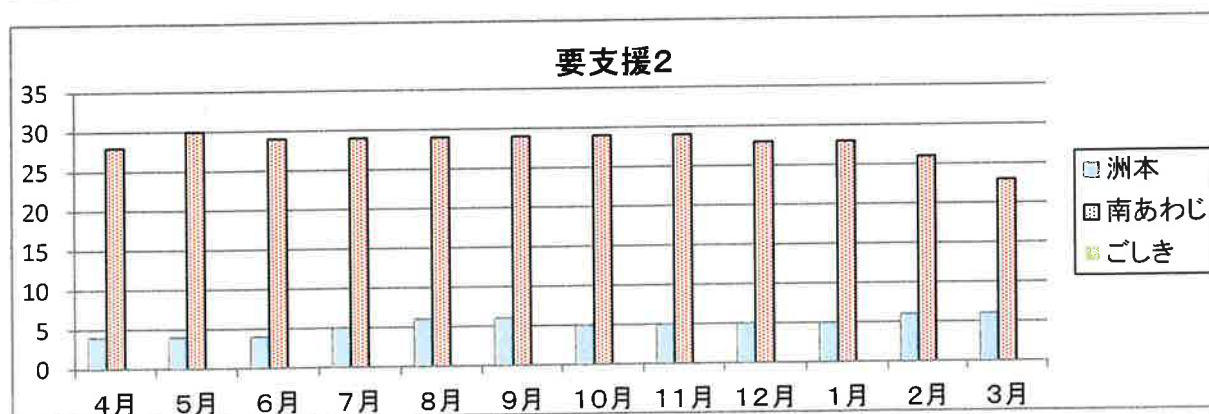
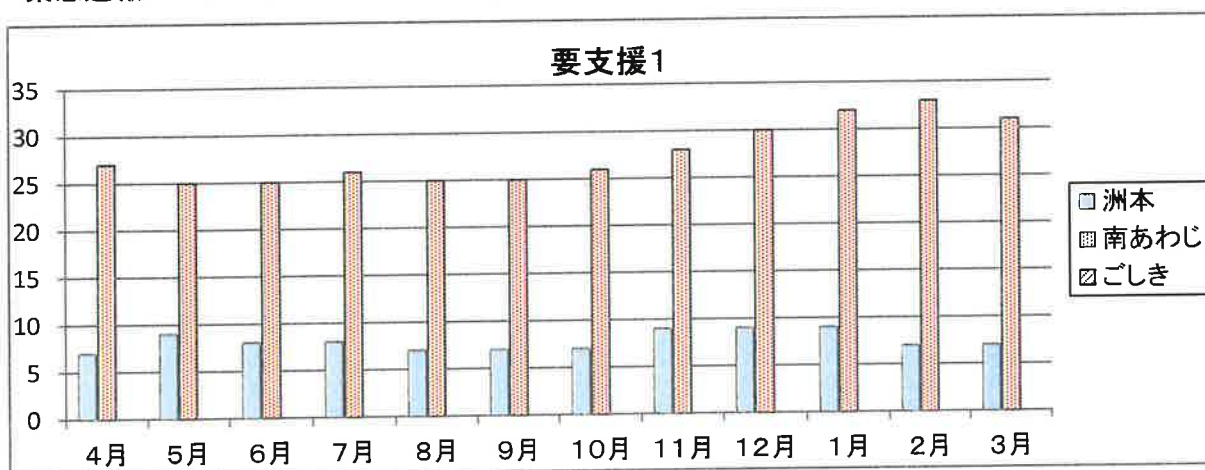
3 予防給付プラン作成実績

(件)

区分		29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
予防プラン	要支援1	洲本	57	7	9	8	8	7	7	7	9	9	7	7	94	7.8	
		南あわじ	341	27	25	25	26	25	25	26	28	30	32	33	31	333	27.8
		ごしき	12	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0
	要支援2	洲本	57	4	4	4	5	6	6	5	5	5	5	6	6	61	5.1
		南あわじ	271	28	30	29	29	29	29	29	29	28	28	26	23	337	28.1
		ごしき	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0
	合計		740 (142)	66 (6)	68 (7)	66 (6)	68 (7)	67 (7)	67 (7)	67 (7)	71 (6)	72 (7)	74 (7)	72 (6)	67 (7)	825 (80)	68.8 (6.7)

※ 括弧内数字は、保険外サービスを組み合わせたケアプラン作成数(内数)である。

※ 保険外サービスには、配食サービス、ふれあい・いきいきサロン、地域サポート施設(LSA)緊急通報システム等のサービスを組み合わせた。



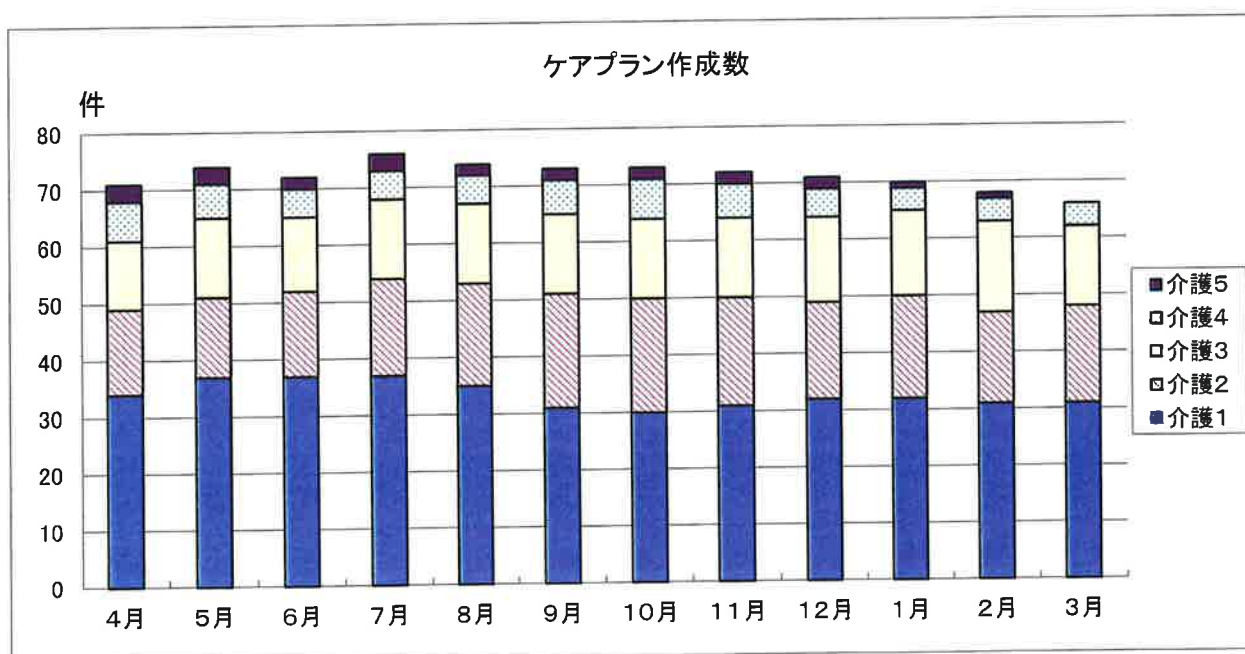
4 介護給付ケアプラン作成実績

(件)

区分	29年度	30年度												合計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要介護1	446	34	37	37	37	35	31	30	31	32	32	31	31	398	33.2
要介護2	201	15	14	15	17	18	20	20	19	17	18	16	17	206	17.2
要介護3	130	12	14	13	14	14	14	14	14	15	15	16	14	169	14.1
要介護4	62	7	6	5	5	5	6	7	6	5	4	4	4	64	5.3
要介護5	29	3	3	2	3	2	2	2	2	2	1	1	0	23	1.9
合計	868	71	74	72	76	74	73	73	72	71	70	68	66	860	71.7
	(89)	(9)	(9)	(9)	(8)	(8)	(8)	(8)	(11)	(11)	(11)	(11)	(9)	(112)	(9.3)

※ 括弧内数字は、保険外サービスを組み合わせたケアプラン作成数(内数)である。

※ 保険外サービスには、配食サービス、ふれあい・いきいきサロン、外出支援サービス、地域サポート施設緊急通報システム等のサービスを組み合わせた。



5 認定調査実績

(件)

洲本市	29年度	30年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在宅	50	1	0	0	0	0	1	0	1	3	2	0	0	8
自施設	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	5
他施設	0	1	0	0	3	3	1	3	2	0	1	3	3	20
合計	58	2	0	0	3	3	2	5	3	3	3	5	4	33

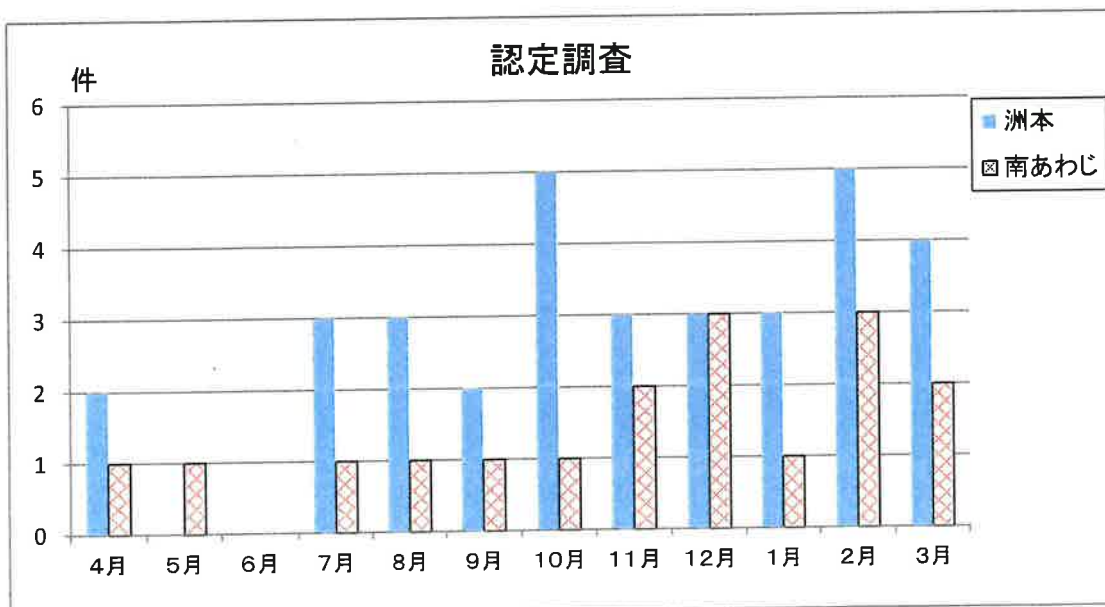
(件)

南あわじ市	29年度	30年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在宅	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
自施設	17	1	1	0	1	1	1	1	2	3	1	1	0	13
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	37	1	1	0	1	1	1	1	2	3	1	3	2	17

* 南あわじ市においては、23年度から市の調査員が基本調査を行っており、調査件数が減少が継続。

南あわじ市へは、調査の依頼をしている。調査員の登録ができる職員には、積極的に働きかけている。

* 5、6月は、事業所職員の手薄により、依頼を休止していた。



6 加算状況

(件)

区分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
予防プラン	初回	33	1	3	1	0	1	0	2	6	1	2	1	1	19
	小規模連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護プラン	初回	30	2	5	0	2	0	0	2	1	2	2	1	3	20
	医療連携Ⅰ	8	2	2	1	1	0	2	1	2	0	1	0	3	15
	医療連携Ⅱ	23	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	退院	11	0	0	1	7	2	1	0	0	0	0	0	0	11
	緊急時等居宅カンファレンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合型サービス連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定事業所Ⅱ	867	71	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	145
合計	972	76	87	3	10	3	3	5	9	3	5	2	7	213	

※ 加算の説明について

- 初回 : 初めてのサービス利用開始、または要介護度区分が3段階以上の変更認定、または3ヵ月以上サービス利用していない場合で利用再開
1回あたりの単価 $¥3,000 \times 20名 = ¥60,000$
初回加算該当者であって、退院加算の算定者3名いた。(同時算定不可)
- 医療連携Ⅰ: 入院後、3日以内に在宅での状況について情報提供を行った場合
1回あたりの単価 $¥2,000 \times 15名 = ¥30,000$
- 医療連携Ⅱ: 入院後、7日以内に在宅の状況について情報提供を行った場合
1回あたりの単価 $¥1,000 \times 3名 = ¥3,000$
- 退院 : 退院時に医療施設と連携をとった場合
カンファレンスに参加しなかった場合 1回あたりの単価 $¥4,500$
カンファレンスに参加した場合 1回あたりの単価 $¥6,000 \times 11名 = ¥66,000$
加算要件として、退院後の在宅医療医、医療サービスとの連携が必要となった
- 特定事業所: 主任介護支援専門員を配置。24時間連絡体制を確保し、必要に応じて相談に対応する。
- 加算Ⅱ 1件あたりの単価 $¥3,000 \times 145件 = ¥435,000$
人員の不足により、今年度は、4・5月のみの算定である。

* その他の加算に関しても、利用者の状態に応じて算定を行った。

* 連携に関しては、利用者・家族の承諾のもとで行い、その後のサービス調整にも繋がった。

* 認知症加算、独居高齢者加算については、平成27年度より基本報酬に組み込まれている。

VII 在宅介護支援センター

1 施設の概要

[1] 名 称	緑風在宅介護支援センター
[2] 所在地	兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
[3] 開設	平成6年6月27日
[4] 設置運営	社会福祉法人 緑風会
[5] 併設施設	特別養護老人ホーム 緑風館

2 活動実績

区分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動日数	開所日数	253	21	24	21	22	18	20	21	24	22	15	21	22	251 日
	訪問回数	128	4	8	5	4	5	3	4	4	4	7	11	25	84 回
	会議	36	3	3	6	3	2	4	2	2	2	3	2	2	34 件
	家族会	4	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3 件
	出前指導	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1 件
	新規出前指導	18	2	0	2	4	0	0	1	1	0	0	1	0	11 件

※訪問回数は、相談依頼への対応と、市の配食サービス、紙オムツ補助支給サービスのアセスメント調査。

※出前指導は2回目以降の認知症サポーター養成講座、新規出前指導は初回の認知症サポーター養成講座等である。

3 会議の内訳

(件)

区分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括在介 連絡会	7	1	1	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	7
その他の会議	6	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	2	0	6
合計	13	1	1	4	1	0	2	0	0	0	1	2	0	13

※ 上記の表以外に、緑地区民生委員会と緑地区地域ケア会議は毎月出席している。

※ その他の会議は、各在宅介護支援センターとの打ち合わせ会議、研修などである。

4 いきいき百歳体操・認知症サポーター養成講座の内訳

(件)

区 分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
いきいき百歳体操	6	0	3	4	0	1	2	2	2	1	0	2	0	17
認知症サポーター養成講座	23	2	0	2	3	1	0	1	0	0	0	1	0	10
合 計	29	2	3	6	3	2	2	3	2	1	0	3	0	27

その他に、8月、9月に緑地区の集いの場の運営支援も行う。

5 相談内容別実績

(件)

区 分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在宅生活について	17	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	3	8
情報提供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
相談実人数	21	1	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	4	11

6 調査訪問内容別実績

(件)

区 分	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
オムツ調査	29	0	2	1	0	1	0	1	0	1	1	2	19	28
配食調査	22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	8	4	16
継続見守り	74	4	5	4	4	4	3	3	4	3	3	1	2	40
合 計	125	4	8	5	4	5	3	4	4	4	7	11	25	84

7 平成30年度 事業計画に対しての取り組みと結果

[1] 出前指導として認知症に対する地域住民への正しい理解の普及について

今年度も引き続き、市内在宅介護支援センター4事業所と協力し、「認知症サポーター養成講座」を開催と、在宅介護支援センター新聞を利用した普及活動を行い、認知症に対する理解を積極的にアピールした。結果、地域から講座依頼があり、認知症の理解を深めた。特養でのオープン講座を開き、個人でも参加しやすいように配慮して認知症の理解を行った。

[2] 地域住民からの相談に対する窓口機能について

各地区のいきいき百歳体操を支援する中で、生活の中での困り事を聞き取り、支援サービスに繋げたり、民生児童委員の定例会に参加することで、民生委員と協力して高齢者支援の方向性を検討していくなど、身近な高齢者の窓口としての機能を発揮でき、サービスや見守り体制を強化できた。又、民生委員へ相談窓口としての機能を再周知し、相談支援体制を再確認した。

〔3〕 地域ケア会議について

高齢者の独り暮らしや高齢者世帯だけでなく、家族と居ても気になるような家庭があれば、課題になり、その後、適切に解決することができた。また、民生委員には毎月交代で出席していただき、より身近な高齢者の課題を議論できる場となり、病院や社協、ケアマネ、みどりの家などとも情報を共有でき、情報共有した対象者に何かあったときはすぐに対応することができ、具体的な対策も検討していった。個別のケースを具体的に検討する中で、地域の状況や課題も確認できた。

〔4〕 家族会の継続支援について

南あわじ市の認知症を支える家族の会(スマイル)は、参加者が自主的に運営できた。互いに協力し合い、いろんな話の中から、介護についての悩みや癒し、工夫などを共有できるようになってきた。3市のそれぞれの家族会との交流もあり、意見交換も行えた。毎月1回定例会とは別に、認知症カフェを運営した。認知症に関することを知りたい人なら誰でも気軽に集える場所となっている。カフェの参加者が少ない為、広報活動等が今後の課題である。介護をしている家族同士が交流できる場を設けることで、日頃の介護に関する悩みや工夫を話し合う機会となった。

〔5〕 その他

困難事例に関しては、地域包括支援センター、担当地域の民生委員、家族、関係機関等と話し合いの機会を持ち、在宅生活の支援や制度への繋ぎを支援することで、少しでも安心して生活が送れるように調整した。

Ⅷ 地 域 交 流 実 績

区分	ボランティア名(敬称略)	内 容	人 数
4月	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	4
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
5月	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	5
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
6月	倭文小学校	交流会	訪問
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	4
7月	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	4
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	広田保育園	七夕祭り	42
	ビハーラとも	納涼祭	24
	楽衆～輪～	納涼祭	6
	CHIZURU&二郎	納涼祭	2
	倭文中学校音楽部	納涼祭	6
	パナソニック かけはし連	納涼祭	15
	社協ボランティア	納涼祭	4
	元職員	納涼祭	3
	福祉用具業者ボランティア	納涼祭	3
8月	広田少年野球クラブ	清掃奉仕	14
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	3
9月	琴伝流大正琴 琴成会	敬老会行事	8
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	4
10月	藤江 キヨエ	マッサージ	1
11月	倭文小学校	ふくちゃん祭り	訪問
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	みどりふれあい福祉のつどい	市民のつどい	訪問
12月	クリスマス会	倭文保育園	12
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	倭文少女バレークラブ	もちつき	5
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	2

1月	CHIZURU&二郎	新年会行事・歌とギター	2
	銭太鼓を楽しむ会	新年会行事(踊り)	8
	傾聴ボランティア	お話相手	3
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	調理ボランティア	行事(1喫茶コーナー)	3
2月	調理ボランティア	行事(1喫茶コーナー)	3
	調理ボランティア	行事(2喫茶コーナー)	3
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
3月	南淡琴同好会	ひなまつり会行事(琴演奏)	3
	広田地区敬老会	敬老会式典	訪問
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	西東 五十鈴	草引き	1
	平山 幸子	入浴後整容	1
	調理ボランティア	行事(1階喫茶コーナー)	3
	調理ボランティア	行事(2階喫茶コーナー)	3

合計 215人

